

【事故概要】

- 日時：令和4年11月10日 3時26分頃
- 概要：大型トラックが東名高速道路の第1通行帯を走行中、**渋滞の車列に追突した**ことにより、計4台の車両が関係する多重追突事故が発生。**この事故により火災が発生し、車列最後尾の乗用車の運転者及び同乗者1名、中型トラックの運転者、追突した大型トラックの運転者の計4名が死亡した。**



事故車両

【原因】

- 運転者（推定原因）
 - ・ **高速道路における深夜時間帯の単調な運転**において、**眠気リズムの影響により覚低運転**が誘発され、前方の安全に対する**集中力の低下**。
 - ・ 運転特性の**危険感受性の低下**による前方の安全に対する**注意力が低下**。
- 事業者・運行管理者
 - ・ 集中力の低下を招くおそれのある**眠気リズム**が安全運行に影響を及ぼすことについての**指導の不足**。
 - ・ 運転者個々の運転特性に配慮した**きめ細かな指導の不足**。



【再発防止策】

- 指導監督の徹底
 - ・ 生体的特性としての**眠気のリズム**により高まる**事故リスクの周知と対応措置の指導**。
 - ・ **適性診断の指摘事項**に対する**適切な指導**と**運行記録計**や**ドライブレコーダー**の記録を利用した**フォローアップの実施**。
- 運行管理の徹底
 - ・ 眠気や体調の異変等により**安全な運行**ができないおそれのある場合に備え、**緊急時の対処方法及びその際の連絡体制等**についての**ルール作り**を行い、常日頃から運転者等に**周知徹底**しておくこと。
 - ・ **健康診断**等により運転者の**健康状態を把握**するとともに、**疾病治療中等の運転者**に対しては、日々の**点呼**において、運転者の**服薬や治療状況の確認**を確実に行うなど、**健康管理の徹底**を図ること。



指導監督の徹底